

ル 約七〇六、七
 ヌ 約四〇三、四
 リ 約二〇四
 シ 約一五〇、一五四
 ト 約四〇八、
 約三〇七、八、
 非 約三〇六、九
 ニ 約一〇二
 ハ 約四〇六、七
 口 約二〇四
 約一〇

九
八
七
六
五
四
三
二

新約全書使徒ヨハネ第二書

長老遷を慕れるクリアと其子等に書を贈る我誠に爾曹を愛す第我れみか
 らず凡る真理を識る者ハ亦みな爾曹を愛せりニ爾曹を愛するハ是れら
 汝裏に在て恒に離れざる真理に縁てなりニ爾曹ハ實と愛とに居て神すな
 ハち父および父れ子イエスキリストより恩寵と慈恵と平康とを受べし〇
 四 われ爾の子等の中わが受し所の父の命のごとく真理に遵ひて行む者の
 有を見て甚だ喜べり五 クリアよ我ハ爾に勸む互に相愛すべし此ハ新し
 キ誠を書贈るに非ず即ち始より我儕が有る所汝等なり六 われら彼の誠に
 遵ひて行むハ是すなり七 爾曹が始より開し如く愛に行むハ是乃ち
 誠あり七 〇ハ誠に誘ふ者おほく世に出イエスキリストハ肉體と爲て臨り
 給へることを認めざる此誠に誘ふ者ハ乃ちキリストハ敵おれハなん
 ちら我儕が勸懲し所の事を虚くせず全吾實を得んが爲に自ら慎むべし九
 凡ウキリストハ汝教に居ずして人を導く者ハ神を有すキリストの教に在る

新約全書使徒約翰第一書終

十 者ハ交および子を有リ^十人もし此教を有せずして爾曹に來らバ之を家に納
 入ルこと勿レ彼に安かれと言ふかれ^{十一}彼に安かれといふ者ハ共に其惡行に
 與する也○^{十二}我々汝等多^{十二}端われ思ふ紙と墨とを以て爾曹に書おくるを欲
 す我儕ハ喜樂ヲ充滿せん爲に爾曹に至り口を對テ語らんことを望む^{十三}爾
 汝姉妹すなはち選を蒙れる者ハ兒女なんぢに安を問ひアマン

チ 加一八加
 一 墨開五〇生二
 カ 約翰十三
 三 彼前五〇十三

十
 十一
 十二
 十三

新約全書使徒約翰第二書終

新約全書使徒ヨハネ第三書
 長老愛するガヨス即ち我が誠に愛する所の者ハ書を贈るニ愛する者ハ爾
 が靈魂の隆んある如く爾すべての事につきて隆んに又庶幾ならんことを
 我れが三兄弟來りて爾が眞理を有ること即ち爾が眞理に行ひて之を證
 したれバ我甚だ喜べり^四わが子等の眞理を行むを聞に愈れる大なる喜樂
 ハ我になし愛する者ハ爾ハ實旅なる兄弟にまで凡て行ふ忠信をもて
 行へり^六かれら教會の前に在て爾の愛を證せり爾もし神に合ふべく彼等
 の行路を助バ其行ふところ善なり^七彼等ハ主の名の爲に出て異邦人より
 何を受ぜられバ也^八是故に我儕かくの如き人を助くべし蓋われらも彼等
 と偕に眞理に闘く者とならん爲なり^九われ曩に書を教會に贈りしが彼等
 の中に於て長たらんことを欲し^十テラレバ我を納ざりタ^十我もし往バ
 其行る所を心に記置ん彼ハ惡言をもて妄に我儕を論じ且之れを以て足り
 とせず自ら兄弟を接す其を接んとする者をも妨げて教會より驅けたらん^{十一}

一 卷十九〇世九卷十六〇世
 口 卷二〇十四
 ハ 卷四
 二 卷四〇十五加四〇十九
 六 卷四〇五
 九 卷九〇三十五卷二

二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一